

## 平成25年 第2回 五泉市住居表示審議会 会議録

日 時 平成25年1月29日(火) 午後1時30分～午後3時8分

会 場 五泉市村松支所 3階 市民ホール

出席委員(9名)

相田豊委員・鈴木良民委員・阿部律雄委員・金子トシ子委員  
加藤聡委員・島名透委員(代理人加藤委員出席)・雨田進一郎委員  
鈴木紀美子委員・斎藤史郎委員

欠席委員(1名)

瀧澤修委員

出席者 事務局(4名)

地域振興課 高岡徳康支所長兼課長・熊倉央課長補佐  
安中浩之係長・高橋友紀主査

傍聴者 23名

報 道 3名

13:30 開会

熊倉課長補佐 定刻になりましたので、第2回五泉市住居表示審議会を始めさせていただきます。それでは、会長より、あいさつかたがた進行をお願いいたします。

阿部会長 第1回の審議会が1月18日に開会されたわけですが、伊藤市長より村松地区住居表示整備事業について諮問をいただいたわけでございます。諮問内容を確認させていただきます。まず、実施区域につきましては、別添、各委員の皆様にお配りした通りでございます。それから実施方式としまして街区方式を採用すると、これも決定事項でございます。町割り及び町名につきましては、諮問内容は村松中、村松東、村松西、村松南ということで4つの区割りが提出されております。私ども審議会といたしまして、十分検討して、審議を進めてきたわけでございます。将来に禍根を残さないような、私どもの孫の時代になって、良かったと言える様な計画にしなければならないと思っております。本日2回目になりますが、忌憚りの無い意見をいただきたいと思っております。本日はよろしくをお願いいたします。

それでは、早速審議に入らさせていただきます。瀧澤委員は、インフルエンザのため欠席となっております。島名委員も公務のため、加藤委員が代理人として出席しております。皆様ご了承願います。よって、出席は9名で過半数に達しておりますので、本日の審議会は成立ということで、会議を進行させていただきます。事務局及び報道機関から会議中の写真撮影の申し入れがありましたので、この際、これを許可いたします。

それでは、議事の(1)審議に入ります。まず、前回宿題とさせていただいた点について事務局より説明を求めます。

安中係長 先般、第1回目の審議会ですが、ご質問いただきました内容につきまして回答させていただきます。まず、区域の世帯数ということで、相田委員さんより質問のありました件でございます。今回諮問いたしました4区画、村松中・東・西・南のそれぞれの世帯数ですが、

村松中が約 750 世帯、村松東が 710 世帯、村松西が 320 世帯、村松南が 420 世帯で合計 2200 世帯ということでございます。

次に市民説明会の意見集約ですが、1月の21日付で各委員宅に郵送させていただいた資料でございます。A4の1枚のものでございます。ご覧のとおり平成24年11月19日から12月5日の間で、のべ10日間開催したものでございます。この市民説明会での主な意見や質問事項を記載させていただきました。

それからもう1点でございます。お届けした資料でA3横のものでございます。平成8年の区割り案ですが、経過を説明しますと、平成8年4月村松町役場時代に、企画課内に住居表示係を新設いたしまして、旧町部と菅名地区の一部について住居表示事業に取り組むことになりました。町名につきましては、今回同様審議会を立ち上げ、答申いただいたものがお手元の資料であります。平成8年12月の広報に公表し、滝谷川より西側地区を先行して説明会を実施しましたが、なかなか合意が得られず、先に進まず、平成12年頃休止になったという経緯がございます。

簡単ではございますが、資料等々の説明をさせていただきました。

阿部会長 それでは先回、区割り、名称に関しまして、委員の皆さんからも具体的な提案をお願いした所であります。その際、斎藤副会長から別添の案が提出されましたので、これにつきまして、斎藤副会長からご説明いただきたいと思っております。

斎藤副会長 私の方で試案を作ってきました。事務局から見ていただきまして、これを一つのたたき台として、今日の話をしたらどうかとありましたので、どの様な考えで作成したか、お話ししたいと思っております。18日の会議で、住居表示が街区方式で行うと決まりましたので、街区方式について、私の方から4つばかり言及して町割りをしたらどうかということで、やってみたのですが、その一つが11月の説明会があった時に、非常に多くの意見が出てきました藩政時代に言われていた町名を、できるだけ残して欲しいという要望が非常に強かったように思いました。かつて使われていた名前を消してしまうのは、歴史を消してしまうのに等しいと思っておりますので、大変問題だと思っております。藩政時代に使われていた名前をできるだけ残していきたいと思っております。伊藤市長から諮問のありました、通称名を使わないようにしたらどうかとありましたが、全部で40から50箇所も通りの名前が付いていたのですが、それを全部残すということはできないですけども、道路の名前、街路名ですが、必要なものは残していかなければならないと思っております。まったく新しい町名を適当に作って付けるのは、歴史を無視したやり方だと思っております。そうではなくて今まで使われていたものは、街区方式できちっとできるのは残していくと、そんな風に思っております。

もう一つは、4分割では大雑把すぎるのではないかとありましたけれども、だいたい14ないし15の街区、町割りするのが適当ではないかと、この試案を作ってみました。それで、どのように分割するかということですか。一つは、この前の時にみなさんにお配りしたのを見てもらえば分かるのですが、かつての藩政時代の町割りを見ると、現在の町割りとほとんど同じであります。現在の住宅地図を見ますと、甲番地、乙番地がどんな風になっているかを見ながらやってきました。この資料にも書いてありますとおり、私の住んでいる所は長柄町ですけども、長柄町や本堂、御徒士町、根木町、宝町などと言っておりますと大変ややこしくなりますが、このコピー取ったものを見ますと、城を中心に、西の方には西丁と、下級武士が住んでいた場所があります。東の

方には、今の根木町、宝町ですが、東丁と地名が付いております。もう一つは、私はあまり使った覚えは無いのですが、同じ家臣でも割と位の高い武士が住んでいた所が、城のすぐ東側、支所や源太小路、泉町の場所ですが、丸の内となっています。大きく、武士の住んでいた乙の番地は西丁、東丁、丸の内と3つに大きく分けられます。こういう名前を残していったらどうだろうと。

もう一つは、今でいう学校町、かつては営所通りと言っていました。ここは地図を見ますと大島げた屋さんまでは道路がありましたが、その先は道路がありませんでした。これはあくまで江戸時代ですが、多分、明治に入って軍隊が営所させられた。そこに大きな通りができて、それが戦後、営所通りでなくて、学校町になったのであろうと思いますが、学校町と言う名前になって60何年経っています。こういう名前は残していくべきなのだろうなと思います。ただ、その前に、割ってみるといろいろな問題が出てきます。後で審議をして頂きたいなと思いますが。例えば学校町、今の横山旅館の近くでしょうか、あの辺から先はあまり住宅の無い所でしたが、私が割ったものは学校町の中も東丁で割ってしまったので、学校町の半分位無くなってしまいます。この辺の学校町という名前を残すにはどうしたら良いのか、というのをこれから話し合ってもいいのじゃないかなと思います。それから町方、町民の住んでいた所、神社の一角は甲番地となっております。当時の資料を見ますと、一番下の方から、下町、上町、それから下町組、上町組、城町、寺町、それから春日は新城町と当時名前が付けられていました。城川の方は春日と名づけられますが、これは残していてもいいのじゃないかと町割りをしてみました。こんなようなことを基にしながら割って見たのですが、後で眺めているうち、いろいろな問題が出てきました。例えば、丸の内が他の所に比べて広すぎるのではないかと。これを分割するような方法がないかと考えましたが、16年前の審議会の案で、丸の内の所を仲丁から泉町でしょうかね、その線で区切って、西側は丸の内、東側は同じ城下町の名前になるのですが、大手門は城の正門になるのですが、そのような名前が出ております。その辺をこれから検討していく必要があるのではないかと思います。そんなことで、住居表示町割図（案）を見ながら、みなさんからご意見出していきたいなと思います。よろしく願いいたします。

阿部会長　ただ今、斎藤副会長からご説明をいただいたわけですが、各委員のみなさんから質問があれば、ご発言をお願いします。

加藤委員　案では小新保とありますが、駅前と小新保の関係性は何かありますでしょうか。

斎藤副会長　駅前という名前は、ごく最近、地域の方が言うようになった。村松駅があったからだと思いますが、あそこは正式には横町と言っておりました。下町の近藤菓子屋の曲がった角から先は横町と呼んでいました。横町と言う理由が何だかという、もともと五泉に行くには五泉新道は無かった。かつて村松から北蒲の方へ行くには、新田町を通過していた。新田町は越中新田と言いまして、村松駅ができたのは大正時代でありまして、今の方が自分達の所を駅の近くの駅前と言っていますが、できるのだったら、その前にちゃんとした名前があるのでそれを使った方がいいんじゃないかなと思います。今も小新保という名前は使っております。

阿部会長　その他に、ご質問、ご提案があれば受けませんが。

金子委員　先回の相田委員のご意見にもありましたが、ここの上いわゆる村松と付くのでしよう。

齋藤副会長 はい。付けた方がいいと思います。

金子委員 そうなのであれば納得します。ただ、ここに書いてなかったの。

齋藤副会長 私はちょっとこだわりがあるのですが、他の人もそうかもしれませんが、五泉市と合併しましたけれども、ここはあくまでも城下町なんですね。五泉の人には失礼かもしれませんが、旧五泉市は城下町ではない。それをきっちり区別する意味で、村松西丁、村松何々と名前を付けた方がはっきり分かっていいんじゃないかなと思います。

金子委員 平成8年の時のものを見せてもらって、さっきの丸の内がとても広いですよ。大手というのも一つ残して欲しいな。そうすると非常に増えるので、どこか一本にする必要があるのかなと思ひまして、下町、上町をひとつにして、縦線をもう一本引いて、丸の内、大手、この二つ（下町・上町）を一緒になるかどうか、できるかはわかりませんが、大手がもっとさし込むかもしれませんが、本町という形にもっていけばいいのかなと考えるのですが。

齋藤副会長 もともと、本町というのは、そこではないんです。仲丁の相田委員の家の近くから、まっすぐ新丁の、新丁まで行かないんですね、広域農道の手前、番場大工さんの前を通って道がありますが、あれが本町なんですね。というのは、本町の町の字は武士が住んでいた所は何丁目の丁なんですね。ただ、そこは、江戸時代が終わって、私が子どもの頃は畑でした。畑と細い道しかありませんでした。後になってみたら、あの所は村松藩の家老が住んでいた大きな屋敷が並んでいたんですね。そしてあの通りを本丁と言った。こっちに本丁があって、あっちにも本町を付けるのはおかしいんじゃないかな。あくまでも、ここは細かく言えば、横町、下町、仲町、上町なんですね。江戸時代から付けられた町方の住居なんです。町方の住居は非常に大きくて、この通りから上町、馬場丁までと非常に大きいので、本町という名前をここに付けるのは馴染まないんじゃないかなと思ひまして、昔は何々組と呼ばれていましたが、下町組ということに横町が入っていて、後に横町を北下町と言っていた。ここでは、仲町、横町も入れて下町と呼んでいますが、こんな風に分けるのが適当じゃないのかなと、私は分断してみました。

相田委員 先回は街区方式でみなさん異存無くまとまったわけですが、今回は町割り、町名をどうするかですが、ここで示された市からの提案は4つに区切った案です。町割りがこれでいいかどうか最初に決めて頂いた上で審議しないと、町名が入ってくると決めるのは難しいので、まずは町割りがこれでいいかどうかということ審議したいと思ひます。

阿部会長 相田委員から町割りについて、市から諮問があったわけですが、これについてまず、みなさんからご意見をいただいて、決めていきたいと思ひますが、お一人ずつ意見をいただいた方がよろしいのかな。皆さんご自身の考え方があるので。まずは雨田委員からお願いします。

雨田委員 この案についてどうかということですか。

阿部会長 はい、市長が諮問した4分割について、よろしいかどうかです。

雨田委員 まずは、前回、話がありました通称名での配達ですが、通称名で書いてあるものについても、分かるものは配達しております。それで、今の件ですが、郵便局としては番地の連続性が無いと、集配業務については困難を極めております。少なくとも何丁目何番何号と住居表示していただければ、その中で町名については村松中、西、南でも良しですが、村松の歴史のある地名もありますので、それを付けて残していくのであれば、それは審議の通りですので、郵便局としましてはそれに従っていきますので、住居表示の何丁目何番何号ということなんです。

いしたいと思います。

阿部会長 ありがとうございます。それでは金子委員お願いします。

金子委員 今、相田委員からお話しがありましたけれども、私は前回の会議の段階で、村松中、東、西、南は符号的で乱暴なんじゃないかなと、それであれば、斎藤委員の腹案を持って来た方がいいと思っておりましたので、この4分割は、その時点であまりにも乱暴じゃないかなと、白紙に戻してと解釈しておりました。ですから、この4分割はもう過ぎてしまって、今回は次の審議に行くのかと思っておりました。4分割は大雑把すぎるので、6分割、8分割な感じで考えてきましたが、たたき台になるこういうものが送られてきましたので、この中で審議をやって行くんじゃないかなと思っておりました。

鈴木（紀）委員 金子委員の方から4分割が駄目になったと話しがありました、私は違うと思います。分割方式は先回の話では出されてなかったと思います。街区方式が決まっただけで、今回、何分割にするか、どういう風にするかは今日の会議でお話し合いがなされるべきだと思っております。先回の会議の後、いろいろな方のご意見を聞きました。資料も送っていただきました。説明会の資料も見させていただきました。旧村松藩の名称を残して欲しい、通称名を残して欲しいという意見がございます。しかし、逆に若い方の中には4分割の名称がわかりやすいと、平成8年の時の住居表示で頓挫してしまったように、また同じようなことが、うちの町名が使えないということで反対がいっぱい出そうだという意見も聞こえております。ですから、4分割が良いのかどうかは別として、街区方式として大きく分けてもらって、旧の名前はトラブルの元の無いように、新たな方式で考えるのもひとつの方法だと思っております。以上です。

斎藤副会長 私は、4分割にした村松中、東、西、南はあまりにも単純な分け方で、分かりやすいということだけを取れば分かりやすいかもしれませんが、絶対に反対です。村松に住んでいる人は村松は城下町なんだと、城下町時代に呼ばれていた名前をトラブルの無いように残していくのは、まったくその通りだと思います。従って、4分割とする、単純に大きな道路で割ってしまうのは、歴史を無視して、歴史を消してしまうやり方で絶対に反対です。

相田委員 4分割がどうかというと、ちょっと偏りがありますので、村松中、東が多いのですよね、倍位あると。ここにもう一つ区割りを加えて、5分割にする方が私は分かりやすいんじゃないかなと思います。それから、歴史を残すということで、市の案は村松藩があった村松ということで考えられたのかなと思います。それで起点を城跡公園と考えたのかなと思います。いただいたものの中で、住居表示に関する法律第9条の2に旧町名等の継承と言う所ですね「市町村は、由緒ある町又は字の名称で住居表示の実施に伴い、変更されたものについて、その継承を図るため、標識の設置、資料の収集その他必要な措置を講ずるように努めなければならない。」と詠っております。市の方としても、できるだけこういうものを考えながら今後進めていかなければならないと思います。私も先ほど、副委員長さんの町名を残すというのも考えてみたのですが、方式が街区方式と決まりましたので、道路方式には戻れませんので、鈴木（紀）委員がおっしゃられた通り、どちらか片方が消えてしまうと、これまた大きな問題となりますので、この区割りにつきましては、もう一つ加えて、この案に賛成です。

阿部会長 鈴木（良）委員お願いします。

鈴木（良）委員 私も、先般、区割りを検討させていただきました。私自身区割りの地域の人

間ではありませんので、どこで切ってもいいのか、どこで切っても苦情が出る。示された案を見た時に、どこで区切られているか、誰が見ても分かる、旧村松に住んでいる人、五泉市に住んでいる人、町外から入って来られる人、こういった人達が一目で見て単純に分かるのが、今回の住居表示の一番大きな目標だと思います。村松の歴史を残す、この城下町を残すというのは、村松藩というのは、しっかり村松ということで残る訳です。あまりにもこの旧町名にこだわるが故に、また先回と同じように駄目になってしまって、20年後に平成25年度に審議したものが良かったのじゃないのかねと逆戻りしてしまうのでないでしょうか。ここは我々批判を受けてでも、大きな区割りになるかもしれませんが、5ないし6だと私も思っています。そういった意味で市の案が丸々そのまま良いという判断ではありませんが、皆さんと審議しながら、6分割または5分割にして、より分かりやすく、しかも誰がみてもこの通りで分かれていますというのが一番いいのだと。私自身この町内に住んでいる訳ではありませんが、そういった一つがはっきり分かるものが住居表示の目標だと思います。この市案をたたき台にしていった方がよろしいと。

阿部会長 加藤委員をお願いします。

加藤委員 説明会の意見、質問の資料をいただきましたが、半分位が旧町名、城下町らしい名前を残して欲しいと、もう半分位が分かり易くしてほしいと。私も五泉市に住んでいる訳ではありませんので、どういったものが良いのかわかりませんが、半分位の人が旧町名を残して欲しいという意見がありますので、この10いくつか良いのかどうかは別にして、旧町名を使って区切るのが市民の皆さんの大部分の方の意見なのかなと思います。平成7年の時の資料を頂きまして、あまりにも4分割、中とか東とかで区切った場合は市民の皆さんから批判が出るのかなと。4分割にしても昔からある丸の内とか西丁、東丁、寺町が中心になるのかなと。

阿部会長 加藤委員（島名委員の代理人）をお願いします。

加藤委員（島名委員の代理人） 今回代理なのですが、鈴木（良）委員の言われたように、住居表示とは誰が見ても分かりやすいのが一番大事なのかなと思います。市の案の4分割はいろいろな人の意見を聞きましたが、賛成する人はあまりいません。年配の方は旧町名を残して欲しいと言いますし、ここまですれば一番分かりやすい市の示した案でいいんじゃないですかと言う人もいますし、若い人は何丁目何番が一番良いと言う人もいます。いろいろです。一番良いのは鈴木さんが言われたように、5か6にして、旧町名を原則はずす訳にはいかないと思いますが、皆さんで検討した方がよろしいんじゃないかなと思っております。

阿部会長 各委員の皆様からお考えをお聞きしましたが、いろいろな個々の思いがありますので、市の諮問案でいいんじゃないの、ただ余りにも荒削りなんで、もうちょっと中を精査して分割を細かくした方がいいんじゃないのというお話もありますし、先般、斎藤副会長から提示されました、あくまでも昔の通称、その名前で表示するという意見もありました。いずれにしても、16年前に頓挫してる訳でございます。ようやく合併後7年経って、機が熟して、今ここで住居表示をきっちり作り上げないと、おそらくこの問題については二度と不可能じゃないのかなと、危惧しております。皆さんいろいろな思いでこの場に望んでおるかと思いますが。

事務局、いろいろなご意見をいただきましたが、今後事務局としてどういった風に進めていけば良いか、良い案があれば教えていただきたいのですが。

高岡支所長 私は、平成8年の時の住居表示の担当の係長でした。第1回の審議会の時の委員

みなさんのいろいろな意見、昨年11月、12月の住民説明会での住民の皆様からの意見をいただいた所でございます。正直な話、城下町あるいは城下町らしい名前を残そうということで、今回は斎藤委員の案でございますが、平成8年の時も14の区割りで残せる名前は残そうということで、どうしても住居表示に関する法律というものがございまして、法律と城下町らしい名前を残そうとすると、街区方式で挙げると、平成8年も、今回もそうですが似たような形になると私も思いました。個人的には、斎藤委員さんからうまくまとめていただいたと感じました。一方で平成8年の時に12月の広報に載った時に、住民の方々から当時の阿部町長、審議委員の方々に非常に不満と言いますか、反発と言いますか、苦情と言いますか、電話あるいは、直接言われたりもしました。そういうことを考えると、斎藤委員さんの案をそっくり答申して、これでもって進めますと、例えば城町の場合ですが、新道の南側は城町になるんですが、その人達が城町で良しとしてくれるのか、馬場丁の人達もおります。栄町、桐林、搦手そういった方々は下町に入ると。そういったことを考えると、これをベースに説明会をした時には、平成8年と同様に相当な反発が来るのだらうと思います。

で、諮問した4つの案でございますが、11月の説明会でも、味気無い、東西南北では簡単すぎると意見をいただいた所でございます。斎藤委員の案も非常によく出来た案でございますが、これで住民の方々が納得するのか、それとも多少不満があっても諮問案の4つを5つ6つに分けていったほうが、通称名は住居表示には使いませんが、小さな不満で済むのかなと思います。第1回の時に担当の安中係長が説明したとおり、決して通称名を無くすのではなくて、住所としては通称名は使用するの難しいだろうと、ただ町内会の名前としては、番号をやめて馬場丁や桐林や搦手とか具体的な名称を呼ぶことによって通称名は残せるだろうと考えております。先ほど相田委員がおっしゃったように、住居表示をやった時に、各要所に旧町名板みたいなものを付けたりに残すことも考えております。城下町らしい名前も大事ですが、それをしたことによって、住民の皆様への反応、理解がどの程度いただけるのかを考えながら審議していただきたいと思えます。

阿部会長 ありがとうございます。今、事務局から16年前の経過等々に基づいて、今回の提案がなされたとお話しをいただいた訳ですが、先ほども申し上げた通り、市長の諮問4分割で無く、もうちょっと細かく分割しても皆さんのお考えですので結構だと思いますが、諮問を受けてそれをベースにして審議会を進めるか、それとも諮問を白紙に戻して審議会として独自の答申をするのか、その辺がきっちり決まらないと、審議会そのものも私も進めようがありませんので、その辺みなさんからここで賛否を取るのも時期尚早かなと思いますので、まだまだいろいろな形で議論をつくさないといけないと私は考えております。今後、審議会を、賛成の方もいらっしゃれば、反対の方もいらっしゃれば、その辺も含めて、いまこの案じゃなくて、こういう審議だよ、今後どうした方向にもっていかうということを皆さんからお聞きしたいと思えます。

まずは雨田委員からお願いします。

雨田委員 最初の4分割の案で進めてご審議をしていただきたいと考えます。先ほどの話の通り、通称名は町内会名として残ることですし、これから進めていく中で、ある程度わかりやすい、複雑にならない所、そういった面で進めていってほしいなと。これをたたき台として審議をしていただきたいと考えています。

金子委員 わたしは4分割では大きいと思いますので、相田委員もおっしゃったように、村松中、東が人数が多いので、真ん中をとって、最低5分割でしていただきたいと思います。最初に分割をどうするか考えて、その後に名称をどうするか、最初に4分割にするか、もうちょっと増やすか、そこから先に進めていくべきだと思います。

鈴木(紀)委員 私も、市からの提案いただきました4分割が、人数割りするなら5分割位でやっていただければと、今後の検討材料になるかと思いますが、この案を元に今回の審議を進めていくべきだと思います。

斎藤副会長 私は先ほどから言ってますように、単純に4分割とか何分割とかではなくて、町の人達の考えていること、町の人達の意見を、おそらくみなさんも説明会で聞かされたらと思うんですが、16年前にも非常に混乱した状態も私も出ていますが、小さな通路名、道路の名前を付いているのは、乙の番地なんですね。この案だと、西丁、東丁の所、西丁では御徒士町、長柄町、本堂、片町、4つに分かれて各細い道路の名前が付いています。もっと細かく言えば、本堂から御徒士町は西横丁と呼ばれていました。かつて武士の住んだ通路には全部名前が付いているんですね。東丁には、横町、上町、九軒丁、鍛冶丁いろいろな名前が付いてます。ここがもめた原因なんですね。私もワーワー言った一人ですが、どうしても自分達の住んでいる所の名前を残してほしいと、誰もがそう言うんですね。そうすると街区方式ではできないですし、街区方式でやっても40いくつ名前を取り上げること、そんなことはできる訳はないんですね。それが一番もめた大きな原因なんです。

それから、最初に言いましたけども、町方と言われる村松の一番大きな通りですね、ここは甲の番地ですが、ここは乙の番地のように細かく通路の一本一本に全部名前が付いているわけではなくて、北の方から昔の言い方言えば横町、下町、仲町、上町、それから西に城町、南に寺町と今も昔もそのまま同じです。そこに住んでいる人達はこの分け方を見ればすぐ分かるんですね。非常に分かりやすい。ただ、町を割るときに、こういう風に割れば100パーセントの人が賛成するものは絶対無いと思います。何パーセントかの人には反対すると思います。例えば、4分割にすれば、4分割にしたで大変な不満が出てくる場合もあると思います。せつかく城下町、村松なのだから、さっき鈴木(良)委員さんが言われた、そういうものはいろいろな所に残されているから町の名前はいいんじゃないかといわれましたが、町の名前が歴史なのです。地名を変えるのはできるだけ避けるべきだと思います。地名とは歴史なんです。歴史を消してしまっているなんて絶対に無いと思います。

だから、私はそういう意味からも、市長さんから示された4分割案は、大変見ればわかりやすい。外から来た人には分かりやすい。道路の大きい所でスパッと切っているのだから。ただ、こんな単純なやり方で町割りをした所なんて無いと思います。砂漠の中に新しい町ができるのであればいいと思いますが、400年の歴史を持った村松がそんな様な単純な考え方で4分割するのは、こんな馬鹿馬鹿しいやり方は絶対にやめるべきだと思います。

相田委員 私は、先程申し上げましたんですが、旧町名を残すのも道路方式であれば可能と思いますが、先回、街区方式として異存が無いということで決まりました。その上で考えますと、この区割りを見てみますと、新田町が早々に村松を消してしまって、五泉市新田町になってしまっていて、形としてはおかしいのですが、下の方をもう1個設けて、5分割にした方がいい



んじゃないのかなと。町割りを5ということで、市当局、可能ですか。

高岡支所長 どこで線を引くかという問題はありますが、これを5あるいは6にすることは可能でございます。

阿部会長 それでは鈴木（良）委員お願いします。

鈴木（良）委員 今、相田委員の言われた通り、横町に入る小路というところ、近藤パン屋さんから郵便局の前を通過して轡田組さんへ出て行く道があると思いますが、そこで区切ると比較的いいんじゃないかなと気がします。これで5分割になるかと思えます。

もう一点、先ほど私言い足りなかったのですが、旧町名を残して付けた場合、例えば、商店街もありますし、それから町内会の町内会名も市の提案で旧町名を付けると、非常に混雑してしまう。混在してしまう部分がある。そういった意味でどちらを取るか、旧町名を残すのか、それとも町内会名として自分達の町内を守っていく、そういう名前を残すんだと、ということであれば、やはりここは、私も今は5分割の方にかたまりつつありますが、5分割の方がより分かりやすいんじゃないかなと。こういう風に思えます。

加藤委員 4分割、5分割では、市民からの旧町名も残りませんし、斎藤委員の出された試案をもう少しまとめられれば、まとめて、それを使った方がいいのではないかと思います。

加藤委員（島名委員の代理人） その町に住んでいる方は自分の町内の名前をつけてもらいたいのが人情だと思いますが、住居表示は分かりやすい方式が一番ですので、この4分割をもう一度見直して、市役所もできると言っているのであれば、5つ位にしてそこから検討したらいいのではないかと思います。

阿部会長 ありがとうございます。いずれにしても、なかなか堂堂巡りで結論が導き出しできませんので、ちょっと暫時休憩をとりたいと思います。

午後2時35分 休憩

---

午後2時45分 再開

阿部会長 再会をさせていただきたいと思います。先ほど皆様から、市長の諮問と委員の試案の意見をいただきましたが、まとめきれっていません。いずれにしても、どういう形になるかわかりませんが、この審議会できっちり決定しない限り、二度と住居表示の問題については手をつけられないと思うのが、私の実直な気持ちであります。

理事者の立場で、私見は差し控えたい所ですが、商工業者の立場として、若干、私の意見を言わせていただきたいと思います。どこも同じですが、地方は大変疲弊しております。商業、工業まさにシャッター通りです。特に商業は、みなさん村松の地域を見れば分かります。これは交流人口がこの町に入ってこないのです。交流人口をいかに他所から、市外の方を、招き入れるか。雨田委員も申しましたが、住所の不備なんです。この甲とか乙は。現代のニーズに合わないものだと思っております。商工会の中でも様々な住居表示に関しての議論をしておる所でもあります。何故に交流人口が増えないのか、この住居表示がネックなのです。4月から独りで当地においでになられて、どなたに聞かなくても、だまって目的地に行けるのがベストな状態です。郵便局、警察関係もそうだと思います。ましてや合併して非常に行政が広域的になっております。旧村松については住所が昔のままで、甲乙が入り組んでいるのが現状であります。まず、これをきっち

り是正をして、村松においでになれば、どなたに聞かなくても、その地域、場所に行ける、それが大前提だと思います。市長さんもそういう考えをもって、この地域には危機感をもっておられるのだらうと思います。緊急車両の出勤があった場合、旧五泉の職員さんがこちらに異動される、ほとんど分からないと思います。分からないというのは、行政だからキッチリ研修等して学んでいただくべきなんだと思いますが、なかなか、この村松の複雑怪奇な表示は理解をし難いという面もあります。現実には緊急車両が遅れたという話もあります。私ども商工業者として、まずそれをきちり作り上げないと、次の商工会、その関連の事業を通して中々ステップアップができない。いろいろなご意見を頂戴しています。いずれにしても市長の諮問の内容がよろしいのか、齋藤委員の内容がよろしいのか。もっともっと皆さんから議論していただいて、結論を導き出した方がいいのかなと思っております。よって今性急に本日この場で結論を出すのは、私個人は時期尚早だなどと思っております。今一度みなさん、このみなさんからたまわった内容を将来に禍根を残さない、あの時こういうことをやって良かったと、我々の時代ではないんですよ、子、孫に将来に夢を託されるものを作り上げないと。せつかく皆さん集まっていたいていますので、その辺、踏み込んで、確かに城下町の名前を残したい、それも一つの案だと思います。そういう所を皆さんからもう一度議論いただき、残せるものは残せばいいでしょうし、それで、また、こういう場所はこうだったよと、と言う風なものを持ち帰っていただきまして、再度、次回の審議会にご提案いただきたいと思います。委員の皆様いかがでしょうか。

齋藤副会長 私独りが何か変に頑張っているみたいですが。今、会長が言われたみたいに、一番大事なことは、これから何十年後、或いは何百年後に禍根を残さないような、なんだか砂漠の中にポツンとできた、砂漠を3つ4つに割ったような町に絶対したくないと思っています。さっき言ったように、町の名前は歴史なのです。歴史を抹殺して何が残るのですか。もうちょっとよく考えていただきたい。私これが駄目であれば、私、最初にも言ったかもしれませんが、どうしても駄目であれば、甲乙では分からないんですね。皆さん町中の方が、自分の町に付けてもらいたい名前は通称名なんです、通りの名前なのです。道路の名前なのです。どうしても駄目であれば、五泉市村松、通称名、そこへ甲とか乙を除いて自分の番地を付けなければいいじゃないですか。あるいは同じ町の名前でも甲何番、乙何番もあります。そうすれば乙何番地。私その方が分かりやすいと思います。正直いいまして、単純に分かりやすければいいということで4つに切ると、おそらく、村松の住人から相当な大反発が出るんじゃないかなと思います。私、もしそんな事をやるのであれば、そんな所の審議員をやって決めたんじゃないから、場合によっては、即座に辞任させてもらう。私、それ位の覚悟で来ています。単純に考えないでください。分かりやすければいいなんて、住んでいる人間はこれで分かりやすいんです。甲や乙でなければ。甲とか乙とか言うから分かりにくいんです。隣の番地はわからない。乙は乙だが、乙何番地だとかはわからない。これは変えなきゃ駄目だけでも、今みたいな単純な考え方で、まったく歴史を無視して、砂漠の中に町をつくるような考え方でやる位なら、甲乙も通称名も付けて自分の住所にした方が郵便局の方も今の甲乙よりもうんと配達しやすいと思います。その辺、町の住人がどう考えているか、しっかり考えていただきたいと思います。

阿部会長 齋藤委員からいろいろお話がありました。先ほど申し上げました通り、いずれにしても、本日ここで結論を導き出すのは大変難しいと思います。次回も審議会ございます。そ

れまでに今日いろいろ話し合った内容をもう一度精査していただき、次回へ審議を延長するというのはおかしいですが、本日ここで性急に結論を出すのでは無くて、次回にこの内容については持ち越しをさせていただきたいと思います。

鈴木（紀）委員 ひとつよろしいですか。

阿部会長 はい。どうぞ。

鈴木（紀）委員 斎藤委員に一つお伺いしたいのですが、こちら14に分かれておりますけれども、もっと大きく分けるとしたら最大でどの位に分けることができますか。

斎藤副会長 それはやってみないと分からない。さっき4つで分けた時の世帯数は750とか700とかありましたが、世帯数の問題では無いんですね。大きい所は何丁目何番地、小さい所は何丁目をつけなくて五泉市村松何番地でいいと思います。みんな同じ世帯数にそろえる必要は無いと思います。それよりも何でこういう風に分けたのか、そのことを考えていくのが必要です。分割した以上、分割した訳があるんですね。町の人が分割した時に非常にわかりにくくてごちゃごちゃして駄目じゃないかと。よそからいきなり入って来た人にはパッと見た時には分からないかもしれませぬ。そこに住んでいる人でなければ。そうすれば、ただ、何でもいから大きな道路で東西南北で切ってしまって、ここが北で、この一角が西ですと、こんな考え方で分け方をしている所がありますか、もし、あったら聞かせてください。新潟県の中でも城下町と言われるのが、村上、新発田、村松、長岡、今は上越ですが高田とありますが、こんな単純な分け方はしていませんよ、どこも。ただ、通りの名前は、たとえ町名が変わっても使っています。京都に行けば分かりますが、西何条とか烏丸通りとか、六条通りとか、通りの名前を通称として使っています。あそこは住所が非常にややこしいんですね。何々上がる、下がるが正式な住所なんです。正式な住所は公的な書類には使うかもしれませんが、普段は通りの名前を使っている。市長さんの言うように、町内会は今までの町内会をそのまま維持してくださいと。町割りをしていった時に、100パーセント住民が賛成な案はできっこないと思います。だから一部の人がまあしかたないね、しょうがないねと言うような、そこまでしかできないと思います。

阿部会長 他にご意見ございませんか。いろいろお話しをいただきました。この件は次回の審議ということにいたします。

金子委員 ちょっといいですか、途中で申し訳ありません。今ここで次の審議会へということになりますと、1回目とまったく変わらないと思います。出された4分割にしておいて名前を中、東というのをただ変えるようなやり方で今後審議を進めるのか、それとも4分割よりももっと5分割、6分割あるいは7分割という方式で、市の方からもう一回たたき台を作ってもらった方がいいのか。その辺の所を、皆さんにお諮りいただいて、次の審議の方に進めた方がいいんじゃないかと。副会長さんがおっしゃるような、これを通してしまうと煩雑になるのであれば、鈴木委員がおっしゃられた様にこの案をもうちょっと、この分割をもうちょっと、せめて5分割にできるものなのか。それもふまえて、4分割のまま次の審議に進むのか、そのへんの所をもっと煮詰めて次の会に持っていった方がいいんじゃないかと思ひます。

阿部会長 その辺は事務局として、今のお話しについて、妥協する話は考えられるのでしょうか。ちょっと待ってください。相田委員さんからお話しがあるようです。

相田委員 先ほど、私が5分割可能ですかと聞くと、可能ですとおっしゃいましたけれども、

そこで副会長さんの意見もあるわけですので、今日は性急に結論を出さないで、可能であれば、どういう風に可能なのか一度検討していただいて、話はここまで進んだわけですので、次回というところでいかがでしょうか。

高岡支所長 事務局の方でも、4分割を5分割、6分割ということも検討してまいりたいと思っております。ただ、審議委員の皆様にも諮問案の案、斎藤副会長の案なども含めまして、検討した案を持ち寄っていただきたいと思っております。

阿部会長 相田委員よろしいですか。

相田委員 いいです。

阿部会長 それでは、事務局の方も、相田委員の話のようにその辺十分に次回まで検討していただき、この審議会に提出をいただきたいと思います。それでは大変時間も押してまいりましたので、本日の審議会はこれで終了とさせていただきます。

次に(2)次回審議会の予定について、事務局より説明を求めます。

(事務局 安中係長より次回審議会日程の説明)

阿部会長 ありがとうございます。今、事務局より今後の日程について説明ありましたが、みなさまご意見ありましたらお聞かせ願います。よろしゅうございますか。それでは(3)その他について、事務局何かありますか。

安中係長 特にございません。

阿部会長 ありがとうございます。それでは、本日予定されている議題については以上となります。なお、委員の皆様から次回審議会においての確認事項がありましたら、ご発言をお願いします。よろしゅうございますか。事務局連絡事項があれば、ご発言求めます。

安中係長 特にございません。

阿部会長 それでは、以上を持ちまして、本日の審議会はこれで終了させていただきます。大変長時間ありがとうございました。

15 : 08 閉会